

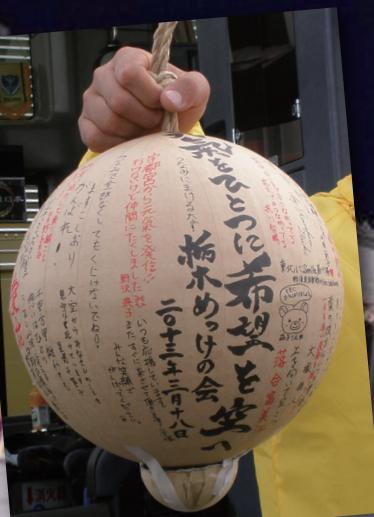
栃木めつけの会 チャリティープロジェクト

気仙沼を花火で元気にしよう!

活動報告書



2013年3月17日、気仙沼の空に花火が上がりました!



ご寄付をいただき、本当にありがとうございました!

○活動報告

3月16日(土)開催予定であった気仙沼追悼花火大会は、強風の為、順延となりましたが、翌日3月17日(日)無事打ち上げる事ができました。

花火開始のセレモニーでは、商店街の方々に栃木めつけの会を代表して齋藤がご挨拶させていただきました。その後商店街の方々と共にカウントダウンをし、花火をスタートしました。

夜空に上がる花火を見ながら、会場の子供たちの嬉々とした歓声と、満面の笑顔で夜空を見つめる大人達の姿を見た時、「花火を上げて本当にやって良かった!花火の力はスゴイ!気仙沼の方々を元気にすることが出来た!」と心から実感しました。

ご寄付をいただきました皆様、栃木めつけの会ならびに気仙沼南町紫市場復興商店街の皆様、本当にご協力ありがとうございました。

今回の花火終了後に、被災地の方々から多くの感謝と熱い激励のお言葉をいただきました。そして、「是非、今後も続けて欲しい」というお声もいただきました。

気仙沼南町紫市場復興商店街の遠藤事務局長からも「今後も、気仙沼の復興に向けて、花火を栃木の方々と共に協力して開催して行きたい」と、ありがたいお言葉をいただきました。

当会としましても、今後も継続的に気仙沼での追悼花火大会を開催し、共に歩む復興支援を続けていきたい所存です。

皆様には今後とも継続的なご支援をよろしくお願い申し上げます。まずはご報告とお礼の言葉とさせていただきます。

ボランティア団体 栃木りっけの会会長：齋藤 秀夫



三陸新聞に掲載されました!

東日本大震災の犠牲者の追憶と復興への願いを込めた花火が17

大輪が夜空を彩る

氣仙沼 変更花火打ち上げ

東日本大震災の犠牲者の追憶と復興への願いを込めた花火が17

日没後、気仙沼市内で打めつけの会と南町の仮設商店街の南町紫市場が企画した花火は、栃木県のボランティア団体「栃木花火業者がスターマイ

を贈る高田一彦さんは「店の再建に向けた感謝の気持ちでいっぱいです」と話す

夜空を彩った花火

FSI-655

高田一彦さん

